

平成25年度

## 2年生 修学旅行

沖縄

10月29日から11月1日にかけての3泊4日で、2年生は沖縄本島への修学旅行を実施しました。

沖縄へ飛行機を使って移動しましたが、初めて飛行機に乗る生徒が多く、緊張と感激に始まった旅立ちとなりました。初日は首里城公園を見学し、かつて栄えた琉球王国の姿に思いを馳せました。夜は国際通りでの研修を行い、買い物や沖縄料理を楽しみました。

2日目は平和学習を中心に、沖縄南部を巡りました。「平和祈念資料館」では、実際に戦争を体験した玉木利枝子さんをお招きし、『戦争体験講話』を聞くことができました。家族や本人が戦争に巻き込まれ、必死で生き延びた体験談は、今の日本で生きる生徒たちには思いもよらない話だったようで、どの生徒も真剣に講師の方の話を聞いていました。その後の「ひめゆりの塔」では、花を売っているお婆さんからお小遣いの中から花を買い、自主的に祈りを捧げる生徒の姿も見られました。この日は、戦争の悲惨さと人間を狂わせてしまう恐ろしさを目の当たりにし、毎日を平和に過ごすことができる現在の日本との違いに誰もが衝撃を受けたようです。展示されている写真や解説を食い入るように見ている生徒の姿からは、彼らがもつ内面の優しさを見ることができました。午後からの沖縄ワールドとグラスボートでは、沖縄の綺麗な自然を間近に体験することができました。夜は一気に北部へ移動し、名護市のホテルに宿泊しました。

3日目は、班別でタクシー研修を行いました。修学旅行前より沖縄について調べていたため、班毎に思い思い

の研修地へ出発しました。主な行き先としては、「美ら海水族館」、「バイナップルパーク」、「むら咲村」、「ブセナ海中公園」などでしたが、午後からマリンスポーツに挑戦した班もありました。この日は天候が心配されましたが、波も穏やかで、ダイビングやシュノーケリング、バナナボートを楽しめました。天候不順な日が続いていたようですが、当日は生徒たちのために天気も味方してくれたようです。

最終日は琉球村に寄りつつ、名護市から那覇市まで戻り、飛行機とバスを乗り継いで羽島に帰着しました。飛行機の都合で例年より遅い帰宅となりましたが、沖縄を充分満喫しました。保護者の方々には送迎などでお手数をおかけいたしました。普段の授業では経験できない、充実した研修であったと思われま。この修学旅行をきっかけに、生徒たちが少し成長したことをご家庭でも感じていただけることを願っております。



平成25年度

## 1年生 遠足

高山

10月30日(水)、1年生は高山へ遠足に行ってきました。

ひるがの高原SAを越えたあたりから、山々がきれいに色づき始め、深まりゆく秋の景色を車窓から楽しみました。

高山市内では、高山別院をスタートに班別研修を行い、宮川の朝市や上三之町の古い町並みなど、小京都とよばれる高山の町を散策しました。

また、飛騨牛の串焼きや高山ラーメン、みたらし団子など、高山の味覚を食べ歩きしている姿や宮川にかかる橋の上で手足長像と記念写真を撮っている姿も見られました。

少し小雨がぱらつき肌寒い天候でしたが、普段の学校生活では味わえない、とてもよい体験ができた一日でした。



平成25年度

## 3年生 遠足

京都

10月30日(水)、3年生は京都へ遠足に行ってきました。

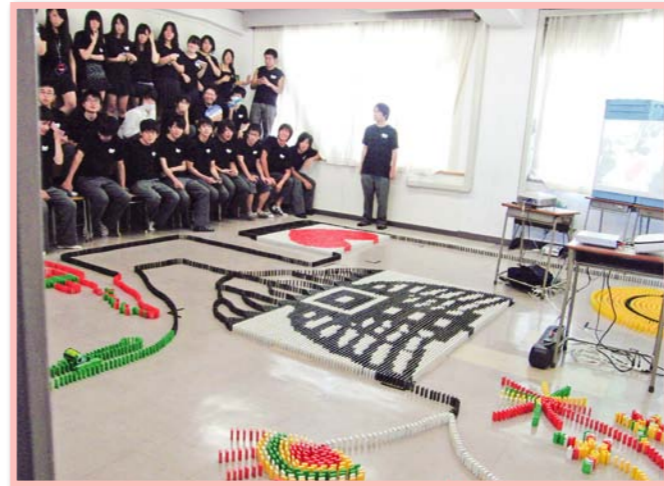
当日は快晴で、しばらく歩いていると汗ばむほどの陽気でした。予定通り羽島市民会館を出発し、途中渋滞もなく、予定よりも早く平安神宮に到着しました。クラス写真を撮影した後、京都市内を散策しました。知恩院や八坂神社を訪れたり、お目当てのお店を探しに行ったりと、友人たちと普段とは違う時間を過ごしました。お昼は名物の湯豆腐やそば、抹茶のアイスクリームを食べたりと、京都を満喫しているようでした。最後は清水寺の近くでお土産をたくさん買い込み、3年生の楽しい思い出が1つ増えました。



# PTA会報

岐阜県立羽島高等学校

第116号 平成25年12月13日  
岐阜県立羽島高等学校  
TEL <058>392-2500  
FAX <058>391-7863  
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/hasima-hs/>



文化祭



PTAバザー



なまず祭り

## 子どもと共に夢を

PTA副会長 今 幸治



本年度 PTA 副会長をさせていただいております、今と申します。校長先生はじめ諸先生方、並びに保護者の皆様にご協力をいただきながら、より良い PTA 活動に貢献していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

羽島高校に我が子がお世話になり早3年、今、こうしてペンを執っているのが不思議な気持ちです。

たまに息子の友達が家に遊びに来て、一緒に食事をしたり、話をしたり遊んだりしますが、自分の高校時代と思い比べて、かなり違和感を覚えることがあります。親の立場として子どもに何を話したらよいか、何を伝えたらよいか戸惑うことがあった時、所属する部活動のことや、子どものやりたいと思っていること、学校であったイベントを、自分自身の学生の頃の思い出話などを織り交ぜながら話すことで、うまく意思疎通できたことがあります。

現代社会は、ITの発達、24時間社会の到来など、社会環境の急激な変化により、子どもたちを取り巻く環境も大人社会の影響をとっても受けやすくなりました。影響を受けるだけでなく、子どもたちを誘惑し犯罪に誘い込む大人や、社会人のモラルの低下も大きな問題

となっており、解決に向けてさまざまな研究努力はなされています。しかし、その対策を越えるスピードで新たな問題が起こっているのが現状です。

このような時期だからこそ、PTAとして、親として、存在が問われているように思います。バブル崩壊を機として、自らを自らで守らなければならない競争社会がはじまりました。「勝ち組」「負け組」に色分けされる社会のなかで、一人ひとりが「夢」を追うことが非常に困難な社会になりつつあるように感じます。しかしながら、高校生活のなかでは、友人・先生・親とともに助け合っ、励ましあって、一段ずつ階段をのぼる子どもたちがいます。子どもたちが望んでいることを親としてどう理解し、どう支援していくのかなど、PTA活動をととして情報を共有しながら、子どもたちと共に夢を抱いていきたいと思っております。

少子化時代にあって、PTA 会員として先生方と共に教育活動に積極的に参加することで、子どもの成長のなかでの思い出のひとつと感じられる活動となるように努力していきたいと思っております。様々な PTA 活動が、子どもの目線により近づき、ともに未来を考えていく機会にできたら幸いです。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## PTA活動に感謝

学校長 杉 山 昭 彦



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第2学期の期末考査を終え、保護者懇談会が始まりました。それぞれのご家庭におかれましては、この懇談を機会

に、今までの学校生活全般を振り返り、3学期に向け激励等をしていただければ幸いに存じます。

先月の11月17日に本校の同窓会総会並びに懇親会が開催され、私も参加させていただきました。第35回生の方々が幹事となり、180名程の参加を得ての盛大な会でした。会の冒頭で本校吹奏楽部の伴奏に合わせ、声高らかに誇らしげに「校歌」を熱唱される同窓生の姿や恩師のご挨拶の言葉から、伝統と歴史ある高等学校であるということを改めて実感させていただきました。

さて、本校の教育活動を直接的にご支援いただいているのがPTA活動で、年度初めの執行委員会、常任委員会、定例総会に始まり、年2回の保護者懇談会、学年別の研修会等を行っています。どの活動にも熱心にご参加いただいている保護者の姿があり、深く感謝申し上げます。PTA役員の方と協議して、毎年工夫しながら開催していますので、お仕事等お忙しいとは存じますが、今まで以上にPTA活動へのご協力とご参加をお願いします。

その他にも、交通安全街頭指導、就職希望者に対する面接指導、あいさつランドはしまプロジェクト等でご

支援をいただいております。また、今年度は、文化祭バザーを開催していただき、生徒たちにかき氷と綿菓子を提供していただきました。

学校教育は、保護者や地域社会の人々からのご支援やご協力が必要不可欠です。高校生が地域社会の一員として、地域の教育力の中で育てていただきながら、実社会での体験をさせ、学力や社会性を身に付け成長させていくことが求められています。そんな観点からも、保護者や地域の方に、学校へ来校していただく機会を増やすとともに、行政や企業等との連携をますます深めていきたいと考えています。

今年度、県立学校における「公費・私費負担区分等ガイドライン」が策定され、PTA等（保護者）からの支援（寄付等）、預り金負託、会計負託を受けていることに対する情報開示と説明責任が求められています。最少経費で最大効果の上がる予算執行と保護者等の負担軽減を図っていく所存です。

我々教職員は、今まで以上に「子どもたちのため」に一生懸命に教育にあたりますので、PTA側からも、今後も引き続き学校へのバックアップをよろしく願います。

いよいよ2学期も終わり、2014年を迎えます。生徒には新しい気持ちで3学期を迎え、卒業や進級に向けて学校生活に集中して1年間の締めくくりをしてもらいたいと願っています。保護者の皆様におかれましては、年末年始、ご家庭でお子様と将来の設計等について語り合う機会を是非もっていただきますようお願い申し上げます。

## 「岐阜県ふるさと教育週間」を行いました

～みんなで学び、みんなで語ろう！、私たちの「ふるさと」～

平成25年11月5日（火）～13日（水）、15日（金）

「岐阜県ふるさと教育週間」にあわせて、学校と家庭・地域社会が一体となった教育の推進と、「開かれた学校づくり」に取り組むために、11月5日～13日、および15日の8日間、授業や芸術鑑賞会の公開、及びあいさつ運動などを実施しました。本年度も数名の保護者、同窓会員、地域住民の方々に、授業や行事の参観をしていただきました。

校内では、北南舎24教室に設置されたエアコンや、飲料水自動販売機の設置位置の変更等、より良い環境の中で在校生が学習に励んでいる様子を見ていただく

ことが出来ました。また、15日（金）に行われた「芸術鑑賞会『おしゃべりなパントマイム』」にも保護者や卒業生の方に参観していただき、生徒の様子を見ていただきながら芸術に親しんでいただきました。

15日は、『挨拶で羽島を明るく』のスローガンの下、本校職員およびPTA、竹鼻中学校の先生方、羽島市教育委員会の関係者の方々と名鉄羽島市役所駅前「あいさつランドはしま」を行い、駅を利用する多くの方々に「おはようございます。」と声を掛けるあいさつ運動をしました。

## 豪雨被災地で行われたPTA全国大会に参加して （全国高等学校PTA連合会大会 山口大会）

PTA書記 川 柳 まさ裕

今号が掲載される季節には木枯らし一号の便りが届いているかもしれません。でも、会員の皆さんも思い出してみてください。

いまいましかった今年の夏を。

お天気キャスターは「猛暑」だとか「酷暑」の言葉をくり返し、ゲリラ豪雨や竜巻が大発生。「これまでに経験したことがないような大雨」や「ただちに命を守る行動をとってください」といった新しい特別警報まで発令された異常な夏でした。

そんな夏に山口県で開催されたPTA全国大会。山口と宇部の二ブロック・七会場に分かれて行われた大会には、全国各地の高校から約三千人（主催者発表）が訪れ、基調講演や全国各地の優秀校による研究成果の発表が行われました。

会場の都合なのか、メイン会場の山口市民文化センターの様子を他会場にビデオ中継。地元出身の総理大臣がビデオメッセージを届け、文部大臣がナマで現れ「基調講演」。



大型スクリーンに映しだされているとはいえ、正直なところ、細かな表などは小さくて模様には見えませんでした。

こんなことなら、わざわざ尊い旅費を使って山口まで来なくてもいいじゃないかと首をかきあげたら、各分科会ごとに研究発表の時間になり、私たち、羽島高校が選んだのは「第一分科会」、テーマは「熟議」。実際にテーブルを囲み、与えられたテーマに沿って「こういう事例がある」「こうしたらいい」と意見を付箋に書いて「題」とし、ボードに並べる。並んだ題を仕分けし

てさらに論議を深めて行く。

この（模擬）熟議に参加した岩田義子委員は「羽島高校に帰ってからも、この熟議という手法は、いろいろな問題解決に威力を感じる」と話します。杉山校長先生によると「KJ法」という問題解決の手法だそうです。



会場の一角で、山口県の商業高校や農業高校の生徒たちが自ら作った名産品やみやげ物を販売していました。それも、「東日本大震災復興支援」とメッセージが添えられているから頭が下がります。

しかし、よく考えてみれば山口県も豪雨災害の被災地ではありませんか。

大会に支障のない時間を見計らい豪雨災害の被災地に足を運んでみました。1時間あたり143.0mm。山口県内の観測史上最大であり、全国でも過去に11番目を記録した集中豪雨。

被災地のひとつ「山口市阿東地区」は、発生から一ヶ月が経過するというのに濁流の傷跡がそのまま残っていました。

りんご園を濁流に流された関係者は「河川の氾濫というより（東日本大震災の）津波のようだった」と語っていました。



山口県内にはこのような豪雨被災地がまだまだたくさん残っていて、夏休みを利用した高校生や大学生による災害支援ボランティアが多数訪れ、復旧、復興に汗を流していました。

そんな被災地で行われた全国大会。被災した県民や高校生が東北の支援をしていた姿に、山口の皆さんの優しさを胸に感じて帰路につきました。もちろん、熟議などの研究成果をたくさんお土産にして。



## 進路指導部より

本校では、「社会の一員として生きていくための知識・モラル・マナーを備えた生徒」「将来について前向きに考え、目標をもって努力できる生徒」の育成を念頭に置きながら、一人一人の生徒の進路希望を大切に多様な取組を実施しています。

夏季休業後の主な取組には、次のようなものがあります。

### 1 PTA役員による面接指導(9/9・10)

3年生就職希望者に対して、6月から全職員体制で面接指導を行っています。その中で、PTA会長様はじめ6人のPTA役員の皆様にもご協力いただきました。

PTA役員による面接指導は、9月16日から開始される就職採用試験の直前に行っていただきました。場慣れと仕上げを目的とした指導で、本番に近い緊張感の中で面接をしていただきました。役員の皆様方、お忙しい中ありがとうございました。

### 2 3年生進学推薦説明会(9/3, 4, 9)

3年生の推薦入試等に関する本校の推薦基準、手続き、具体的な指定校名等について詳細な説明をしました。今年度も保護者の皆様一人でも多く参加していただけるように2日間の予定で実施しましたが、台風の影響で参加できなかった保護者がみえたため、急遽一日増やし3日間で実施しました。合計で29人の保護者の皆様に参加していただきました。

### 3 1、2年保護者対象進路研修会(来年1月予定)

今年度の具体的な就職・入試結果等についてお知らせします。また、外部講師を招いて進路に関する講演を実施する予定です。日程等の詳細は、後日お子様を通じて連絡させていただきます。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

### 4 キャリア教育アドバイザーとの連携

県の「平成25年度キャリア教育アドバイザー配置事業」により、三輪薫さんがキャリア教育アドバイザーとして進路指導室に常駐しています。進路指導部や担任と連携しながら、まだ就職先の決まらない生徒に対して繰り返し面談をし、本人の適性の把握から希望業種の絞り込み、履歴書の書き方、面接指導まできめ細かく指導いただいています。



### 5 岐阜公共職業安定所との連携

就職未決定者に対して、ハローワーク高校新卒応募の方から就職相談会(10/31, 11/1)を行っていただきました。生徒個々の希望に応じて、就職先を紹介していただきました。

## 6 各種検定への挑戦

進路実現の一番の近道は、自己の力を磨くことです。学力はもちろんのこと、それ以外でもアピールできる資格や能力を身につけることが重要です。少しでも進学や就職に有利になるよう、各種検定(漢検・英検・数検・パソコン検定等)に積極的に挑戦させています。漢検については、11月に1年生が全員受験しました。

## 進路状況

### 1 就職について

今年度は、求人数はやや増加していますが、その多くが名古屋市を中心とした都市部に集中しており、本校生徒が希望する羽島市や岐阜市の求人はほとんど増えていません。

現時点での内定率は約73%で、今後も関係各機関と連絡を密にして、希望者全員が内定できるように全職員で努力しているところです。

○就職状況 (12月6日現在)

	就職希望者数	内定数		公務員	合計
		学校紹介	縁故		
男	13	6	5	0	11
女	34	21	3	0	24
合計	47	27	8	0	35

### 2 進学について

昨年度は6年ぶりに国公立大学の合格者が出ました。センター試験には、昨年は4名が受験しました。今年度は国公立大学に挑戦している生徒はいませんが、本校の進学者の90%以上が、指定校推薦またはAO入試で進路を決定しています。私立大学・私立短期大学・専門学校、学部・学科・コースのなかから自分の進路を選択しています。

指定校推薦入試もAO入試も、1年の入学時から基本的な生活習慣を身に付けて早い時期から心構えをしっかりと持ち、準備をしなければなりません。また、学習についていけない、自分のやりたいことと違ったなどと、進学先の学校をやめてしまうというような残念なことにならないように、授業に加えて放課後の補習や土曜学習、各種模擬試験や検定試験にチャレンジし、基礎学力と応用力を付けてもらいたいと思います。難関と言われる大学にも挑戦できる逞しさを持って進路実現を目指して欲しいと思います。

現在の進学状況は次のとおりです。

○進学状況 (12月6日現在)

入試方法	四大	短大	専門	合計
AO・自己推薦	3	4	41	48
指定校推薦	24	23	10	57
公募制推薦	2	0	5	7
一般入試	0	0	2	2
合計	29	27	58	114

## 文化祭

9月6日(金)に文化祭が行われました。本年度のテーマは「開拓～羽島の未来を切り拓く～」です。昨年度創立90周年を迎えた羽島高校が、100周年に向けて新しい未来を開拓していくことを目標に文化祭を創り上げました。

各クラスや文化系部活動が、この日のために一丸となって準備をしてきました。クラス展示では、ステンドグラス・ドミノたおし・お化け屋敷・バルーンアート・モザイクアートなどがあり、体育館では、吹奏楽部の演奏に始まり、演劇部・ダンス・女装コンテストなど大変盛り上がりしました。また、文化系部活動の発表として、茶華道部によるお茶会、書道部・美術部・文芸部・科学部の展示、囲碁将棋部の対局もありました。それぞれの発表で、生徒達が工夫し合い完成・披露し



ました。また、有志によるダンスやバンド演奏などもあり、大変楽しい1日となりました。本年度よりPTA役員による綿菓子とかき氷販売も企画されました。

全ての発表の中から最優秀賞に3年5組の「ドミノたおし」が輝き、優秀賞には3年2組の「THANKS」と2年3組の「女装コンテスト」が、審査員特別賞に3年4組の「バルーンアート」が選ばれました。



## スポーツフェスティバル

10月23日(水)に、秋の恒例行事のスポーツフェスティバルが行われました。

秋雨前線の影響で天気が心配される中、開会式がスタートしました。午前中の競技が終わると同時に雨が降り出し、午後に行われるはずの大縄跳びが中止となり、体育館にて閉会式を行いました。

スポーツフェスティバルは、全校生徒が、バレーボール・バスケットボール・卓球の3競技に分かれて競い合います。

朝からクランドや体育館で一生懸命にボールを追う姿や、仲間を応援する姿が見られ、どの会場でも熱戦が繰り広げられました。

閉会式の後は、11月2日に東京で行われる「日本管楽合奏コンテスト」(全国大会)に出場する吹奏楽部の壮行会を行いました。



各競技の結果は以下の通りです。

	学年	男		女	
		優勝	準優勝	優勝	準優勝
バレーボール	1	1年6組	1年2組	1年1組B	1年2組A
	2	2年3組	2年2組	2年3組B	2年1組A
	3	3年3組	3年1組	3年4組A	3年1組
バスケットボール	1	1年5組	1年4組	1年6組	1年4組
	2	2年2組	2年5組	2年1組	2年2組
	3	3年5組	3年2組	3年1組	3年2組
卓球	1			1年3組B	1年6組C
	2	3年1組	2年4組	2年4組A	2年2組B
	3			3年1組B	3年5組A

※大縄跳びは、雨のため中止になりました。

## 芸術鑑賞会

11月15日(金)に、羽島市文化センターにおいて芸術鑑賞会が行われました。

本年度は、テレビ等でも活躍をされ、日本を代表するパントマイマーの「カンジヤマ・マイム」さんの演技を鑑賞しました。

素晴らしいパントマイムは、私達に多くの感動を与えてくれました。更には、カンジヤマ・マイムさんの生き方を含めた話の中で、生徒が自らの今の生活を見つめ直し、「夢」を持つことや、「一期一会」の大切さを感じることができた素晴らしい芸術鑑賞会になりました。

